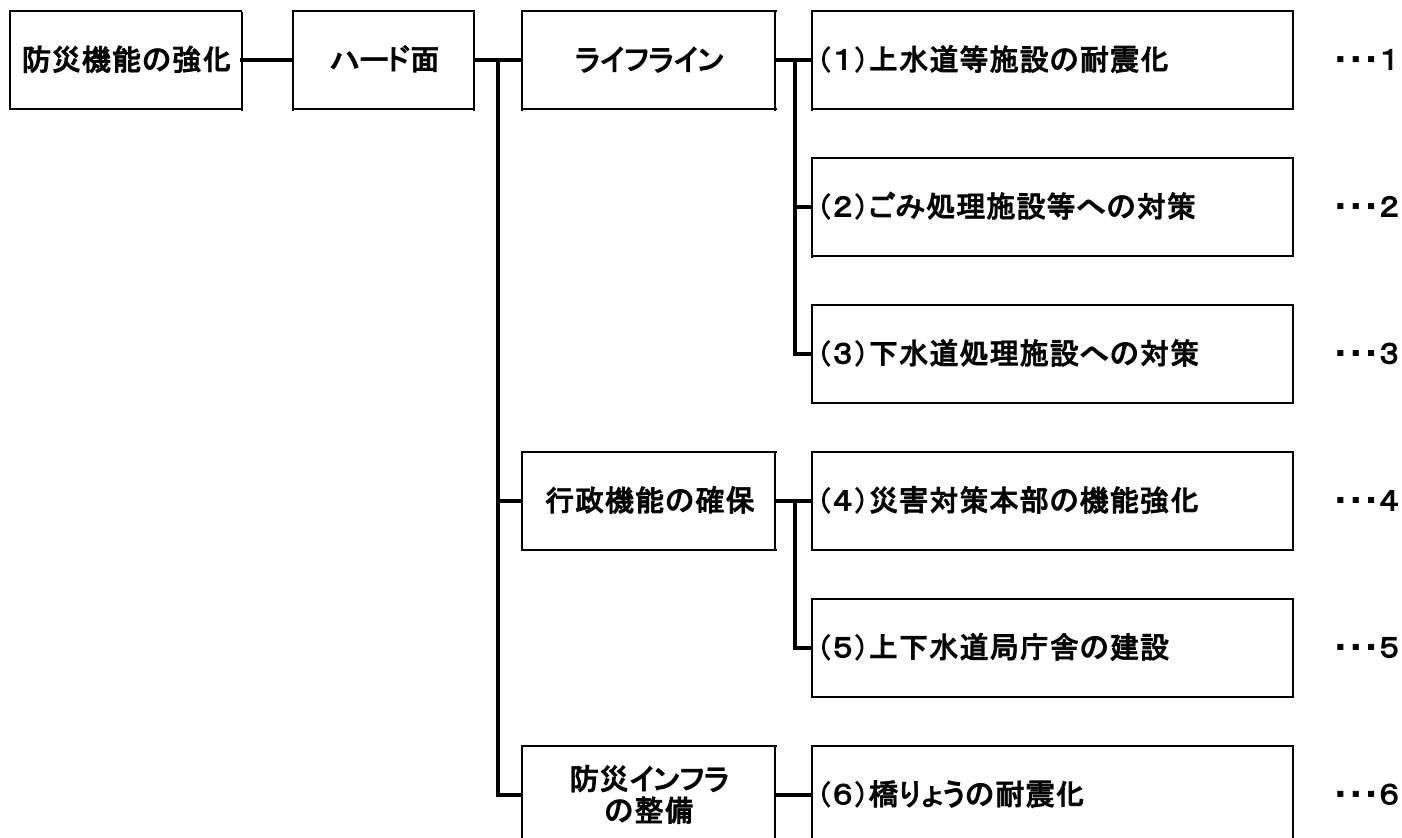


徳島市のまちづくり①「重要課題」について (防災機能の強化)



重要課題 評価シート

重点課題	(1) 上水道等施設の耐震化
所管部課名	上下水道局 水道整備課
関連施策	水道施設の耐震化

1 目的

日常生活に欠かせない重要なライフラインである水道を、平常時はもとより、地震や豪雨等による大規模災害が発生しても、市民のみなさまにお届けする。

2 事業概要

災害・事故時にも安定給水を行うため、今後の水需要などを踏まえ、重要度・優先度を考慮した最適な更新や耐震化を実施する。

3 これまでの経過（合意形成プロセス、検討経過）

年度	取組内容
H28 年度	・水道局の内部組織として、水道事業改革検討会議をはじめとした水道事業検討組織を設置し、水道施設の耐震化等について検討。
H29 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり総合ビジョンにおいて水道管の耐震化率について目標を設定。 ・平成 20 年度策定の「徳島市水道ビジョン」満了後の基本計画策定のため、有識者及び公募市民により構成された「徳島市水道ビジョン 2019 策定市民会議」を設置。 ・11 月 24 日 第 1 回 徳島市水道ビジョン 2019 策定市民会議 開催 ・2 月 13、14 日 市民会議委員による水道施設見学を実施
H30 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・第 2 回～第 5 回の徳島市水道ビジョン 2019 策定市民会議において、水道施設の耐震化等を含む 10 年間の投資・財政計画について審議。 ・12 月 18 日～1 月 17 日 徳島市水道ビジョン 2019 パブリックコメント実施 ・3 月 徳島市水道ビジョン 2019 策定 ・3 月 徳島市水道施設整備計画策定
R 元年度	・徳島市水道ビジョン 2019 に沿って事業進捗
R 2 年度	・徳島市水道ビジョン 2019 に沿って事業進捗

4 事業費

(単位：千円)

H28 年度実績	H29 年度実績	H30 年度実績	R 元年度実績	R 2 年度予算	合 計
946,444	726,970	949,846	1,050,589	1,734,900	5,408,749

5 課題・問題点

水需要が減少傾向を続けているため、将来予測を考慮した水道施設の適正規模について検討が必要である。また、拡張事業等で過去に整備した水道管の更新時期にばらつきがあるため、水道管更新事業量の平準化が必要となっている。

6 今後の方向性

構造物などの施設は、耐用年数が長期にわたるため、今後の水需要の減少を考慮した適正な規模での更新・耐震化を実施する。

管路については、重要施設等へつながる管路や脆弱地盤の管路等、優先順位を考慮した計画的な整備を進める。

重要課題 評価シート

重点課題	(2) ごみ処理施設の対策
所管部課名	東西環境事業所
関連施策	循環型社会・廃棄物処理の推進

1 目的

新たな一般廃棄物中間処理施設が整備されるまでの間、災害時にもライフラインの被害を最小限にとどめ、施設を安定稼働できるよう維持管理を行い、施設の長寿命化に努める。

2 事業概要

施設の長期間にわたる機能停止を防ぐため、定期的に各設備の状況や炉内耐火物の損傷具合を確認し、老朽施設の維持補修を実施する。また、施設が安定稼働できるよう整備計画を策定し、予防保全型管理を行うことで施設の性能・機能の維持に努める。

3 これまでの経過（合意形成プロセス、検討経過）

年度	取組内容
H28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要設備の維持補修、整備工事一式の実施 ・ ・
H29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要設備の維持補修、整備工事一式の実施 ・ (防災関係) 焼却施設避難路の整備及び煙突改修工事の実施（東部） ・
H30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要設備の維持補修、整備工事一式の実施 ・ ・
R元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要設備の維持補修、整備工事一式の実施 ・ ・
R2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要設備の維持補修、整備工事一式の実施 ・ (防災関係) し尿第一工場耐震補強工事の実施（東部） ・

4 事業費

(単位：千円)

H28年度実績	H29年度実績	H30年度実績	R元年度実績	R2年度予算	合計
414,251	501,715	348,261	439,256	445,498	2,148,981
108,225	79,920	126,571	76,100	208,651	599,467

上段ごみ
下段し尿

5 課題・問題点

- ・ 一般廃棄物中間処理施設の一般的な耐用年数が20～25年であるのに対し、東部環境事業所は竣工から41年、西部環境事業所は同29年が経過している。また、東部環境事業所については、建物の耐震強度が不足している。このため、災害時にも安定して施設を稼働できるよう、整備計画に基づいて維持補修及び整備を実施する必要がある。
- ・ し尿処理施設についても供用開始から36年以上が経過している。

6 今後の方向性

- ・ 新たな一般廃棄物中間処理施設が整備されるまでの間、維持補修及び整備工事を計画的に行い、老朽設備を順次更新しながら維持管理に努めることで、施設機能の維持を図る。
- ・ し尿処理施設のあり方について検討し、し尿処理施設整備の方向を定める。

重要課題 評価シート

重点課題	(3) 下水道処理施設への対策
所管部課名	上下水道局 下水道整備課
関連施策	下水道施設の地震・津波対策

1 目的

下水道施設の耐震・耐津波化を図ることで、地震・津波等の災害時においても下水道が果たすべき機能を確保する。

2 事業概要

処理場・ポンプ場各施設 6 か所の耐震・耐津波化工事を実施する。

3 これまでの経過（合意形成プロセス、検討経過）

年度	取組内容
H28 年度	
H29 年度	・中央浄化センター沈砂池・ポンプ棟、内町ポンプ場の耐震・耐津波診断を実施 ※H30 年度に繰り越して実施
H30 年度	・佐古ポンプ場、昭和ポンプ場、中央浄化センター揚水ポンプ棟の耐震・耐津波診断を実施 ※昭和ポンプ場についてはR元年度に繰り越して実施
R元年度	・福島ポンプ場、中央浄化センター最初沈殿池・汚泥濃縮槽その他の耐震・耐津波診断を実施 ※福島ポンプ場についてはR2年度に繰り越し実施中（8月末完了予定）
R2年度	・処理場・ポンプ場施設の耐震・耐津波化計画を策定する予定

4 事業費

（単位：千円）

H28 年度実績	H29 年度実績	H30 年度実績	R元年度実績	R2年度予算	合計
0	42,002	37,812	72,344	11,000	163,158

5 課題・問題点

各下水道施設の耐震・耐津波診断結果に基づき、対策工事を実施する必要があるが、施行順位や段階的工事等の実施方針を検討する必要がある。

今後、多大な事業費を要する。

6 今後の方向性

要求機能に応じ、段階的に耐震・耐津波性能を向上する。

重要課題 評価シート

重点課題	(4) 災害対策本部の機能強化
所管部課名	危機管理局 危機管理課
関連施策	防災機能の強化

1 目的

災害対策本部は多岐にわたる災害対応を統括しなければならない。情報の収集・分析・共有・意思決定を行うため、災害対策本部の機能強化を図るとともに、代替施設（西消防署）の整備を行う。

2 事業概要

災害対策本部及び連絡室の運営に必要な情報通信設備（電話、インターネット回線、庁内LAN）等の整備を行い、災害情報等の共有や以後の円滑・適切な災害対応、被害状況の集約を図れる体制を構築する。

3 これまでの経過（合意形成プロセス、検討経過）

年度	取組内容
H28年度	・ ・ ・
H29年度	・ ・ ・
H30年度	・ ・ ・
R元年度	・ 南館5階会議室を災害対策連絡室として常設化 ・ 代替施設に県防災行政無線の設置 ・ 代替施設に県防災行政無線用非常用発電機の設置
R2年度	・ 代替施設に電話及びインターネット回線の整備 ・ 代替施設に電話交換機の更新 ・ 代替施設に庁内LAN回線の整備

4 事業費

(単位：千円)

H28年度実績	H29年度実績	H30年度実績	R元年度実績	R2年度予算	合計
			2,860	5,528	8,388

5 課題・問題点

災害情報や対応状況を一元的に管理できるシステムの整備等、災害対策本部機能の強化だけでなく、本庁舎の電源の確保、下水設備（トイレ等）の整備等、ライフラインの確保についても検討する必要がある。

6 今後の方向性

業務継続計画（BCP）に基づく職員訓練等により、課題の洗い出しや検証を重ね、実効性のある計画に修正するとともに、災害情報や対応状況の一元管理等、機能強化を図ることで、災害発生時の円滑な活動を目指す。

重要課題 評価シート

重点課題	(5) 上下水道局庁舎の建設
所管部課名	上下水道局 水道整備課
関連施策	水道庁舎の耐震化

1 目的

地震など災害発生時においても水道及び下水道のサービスを継続するために、被災後の応急給水や応急復旧に対応可能な防災機能を有した庁舎の整備を目的とする。

2 事業概要

水道局本庁舎は、昭和 40 年建築の老朽施設であるとともに、耐震安全性の判定要件を満たしておらず、ユニバーサルデザインへの対応も出来ていない施設であることから、防災機能を有する上下水道局庁舎として新たに整備する。

3 これまでの経過（合意形成プロセス、検討経過）

年度	取組内容
H28 年度	・
H29 年度	・平成 29 年 7 月に徳島県耐震改修促進計画により「防災拠点建築物」として水道局本庁舎及び前川分庁舎(旧館)が位置づけられたことから、耐震診断の実施及びその結果の報告が義務付けられたため、耐震診断を実施した。
H30 年度	・水道局本庁舎、水道局前川分庁舎(旧館)とも、耐震安全性の判定要件を満たしていないと診断されたことから、本庁舎等の耐震補強及び更新計画を含む水道局庁舎整備基本計画の策定に取り組んだ。 また、「抜本的な対策を早急に行う必要がある。」と診断された水道局前川分庁舎(旧館)については、使用を中止し、撤去に向けた対応を行った。 水道庁舎の整備について、各分野の専門的な見地から様々なご意見・ご提言をいただくため、有識者及び公募市民により構成された「水道局庁舎整備検討会議」を設置し年度内に 2 回開催した。
R 元年度	・4 月・5 月に「水道局庁舎整備検討会議」を 2 回開催し、防災機能を有する上下水道局庁舎を、現在の庁舎敷地に建て替えることとした基本的な考え方をとりまとめた。 このことを受けて、水道局では水道局庁舎整備についての基本方針をとりまとめ 6 月議会に報告した
R 2 年度	・事業計画として解体工事、埋蔵文化財発掘調査、地質調査を実施する予定であるとともに、庁舎建設の基本・実施設計業務を令和 2 年度から令和 3 年度まで 1 億 3,860 万円の債務負担行為を設定した。

4 事業費

(単位：千円)

H28 年度実績	H29 年度実績	H30 年度実績	R 元年度実績	R 2 年度予算	合 計
—	4,104	9,800	4,836	297,000	315,740

5 課題・問題点

庁舎解体・建設時における市庁舎への来庁者の安全確保。来庁者用駐車場の不足。

6 今後の方向性

令和 5 年度中の供用開始を目指す。

重要課題 評価シート

重点課題	橋りょうの耐震化
所管部課名	土木部道路建設課
関連施策	橋りょうの長寿命化

1 目的

南海トラフ巨大地震等、災害時における避難・救援を担う緊急輸送道路や避難路等の路線網を確保するもの。

2 事業概要

徳島市橋梁耐震化計画に基づき、緊急輸送道路や避難路等に係る橋りょうの耐震化を図るもの。

3 これまでの経過（合意形成プロセス、検討経過）

年度	取組内容
H29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急輸送道路や避難路等に係る橋りょうのうち、重要路線構成橋梁4橋の耐震対策を行った。 ・
H30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急輸送道路や避難路等に係る橋りょうのうち、重要路線構成橋梁2橋の耐震対策を行った。 ・
R元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急輸送道路や避難路等に係る橋りょうのうち、重要路線構成橋梁1橋の耐震対策を行った。 ・
R2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急輸送道路や避難路等に係る橋りょうのうち、重要路線構成橋梁1橋の耐震対策を行う。 ・

4 事業費

（単位：千円）

H29年度実績	H30年度実績	R元年度実績	R2年度予算	合計
87,107	94,172	118,059	147,000	446,338

5 課題・問題点

・ 今後も継続的に多額の事業費が必要であるが、国からの補助金の内示配分率が低いため他の補助事業での採択を考える必要がある。

6 今後の方向性

・ 徳島市橋梁耐震化計画に基づき耐震対策を推進する。